

2018年9月12日

<報道関係各位>

ギリアド・サイエンシズ株式会社

当資料は、米国ギリアド・サイエンシズ社が、2018年9月12日（現地時間）に発表した英文プレスリリースを日本語に翻訳、一部編集したものです。正式な言語は英語であり、その内容ならびに解釈については英語が優先します。

ギリアド・サイエンシズと Precision BioSciences 社、 ARCUS ゲノム編集技術を用いた B 型肝炎ウイルスに対する 治療薬の開発に向け提携

ギリアド・サイエンシズ（本社：米カリフォルニア州フォスターシティ、ナスダック：GILD、以下ギリアド）と Precision BioSciences 社は、本日、Precision 社が有するゲノム編集プラットフォーム「ARCUS」を用いた B 型肝炎ウイルス（HBV）を生体から除去する治療法の開発に向け、戦略的提携を締結しましたのでお知らせします。

世界の HBV 感染者は、2 億 5,700 万人にのぼります。現在ある HBV 治療薬は、ウイルスの複製を抑制する作用を持ちますが、ウイルスを体内から完全に除去する効果はありません。HBV は共有結合閉環状 DNA（cccDNA）を作る性質があり、治療を中止すると複製を再開します。ギリアドが行った予備的な *in vitro* 試験において、ARCUS 技術で作成した HBV の cccDNA を標的とするヌクレアーゼは、ヒト肝細胞中の cccDNA と宿主 DNA に組み込まれた HBV DNA に対して有意の活性を示すことが明らかにされました。

ギリアドの研究開発部門のヘッドであり、チーフ・サイエンティフィック・オフィサーのジョン・マクハチソン（John McHutchison, M.D.）は、次のように述べています。「ギリアドは、慢性 B 型肝炎ウイルス感染の患者さんの機能的治癒を目指す革新的な治療法の開発に力を入れています。私たちは、*in vitro* で有望な活性が示されたゲノム編集と Precision 社の ARCUS 技術の可能性に胸を躍らせています。HBV の治癒に向けた研究活動の重要な要素として、この技術の活用法を探っていきたいと考えています。」

提携契約の条件の下で、Precision 社は、候補となるヌクレアーゼの開発、製剤設計と前臨床評価に主たる責任を負い、ギリアドはその臨床開発と商品化の責任を負います。ギリアドは、研究・開発資金の全額を提供します。Precision 社は、最大で総額 4 億 4500 万ドルのマイルストーン収入を獲得し、提携により開発された製品に対し、最大 10 数パーセント台の段階的ロイヤルティを受け取ることができます。

Precision 社のチーフ・サイエンティフィック・オフィサーであるデレク・ジャンツ（Derek Jantz）は次のように述べています。「ギリアド社の B 型肝炎の治療を基本とするアプローチは包括的で、魅力的な内容です。ギリアド社が当社の ARCUS プラットホームを用いて行った初期研究において、ゲノム編集が HBV プログラムに重要な役割を果たせたことを嬉しく思います。これは、当社の技術を素晴らしい形で応用し、*in vivo* 疾患モデルにおける治療的なゲノム編集に向けた大きな一歩となりました。」

Precision BioSciences について

Precision BioSciences は、生活の改善に向けて活動する企業です。私たちは、遺伝病の治療、がんの克服と地球規模の食糧問題の解決をミッションとしています。私たちは、このゴールへの道を当社の ARCUS 技術で切り開くべく努力を続けています。ARCUS は生体で起こるのと同様の機序を用いた疾患の治療のためのゲノム編集システムであり、その特異性と有効性で人生における最大のゲノム問題を克服していきます。詳細については、www.precisionbiosciences.com をご覧ください。

ギリアド・サイエンシズについて

ギリアド・サイエンシズは、医療ニーズがまだ十分に満たされない分野において、革新的な治療を創出、開発、製品化するバイオフーマ企業です。会社の使命は、生命を脅かす疾病を抱える世界中の患者さんのために治療の変革と簡略化をはかることです。カリフォルニア州フォスターシティに本社を置き、世界 35 か国以上で事業を行っています。

ギリアドの将来予想に関する記述

本プレスリリースは、1995 年米国民事証券訴訟改革法（Private Securities Litigation Reform Act of 1995）で定義される「将来予測に関する記述」に該当し、契約当事者が今回の提携で見込まれるメリットが実現できない場合があるなどの、いくつかのリスクや不確定要素などの要因を含む場合があります。歴史的事実以外の全ての記述は、将来予想に関する記述とみなしてください。これらのリスクや不確定要素、その他の要因により、実際の結果が「将来予想に関する記述」と著しく異なったものとなる可能性があります。本記述の内容は確定したものではありませんのでご注意ください。これらのリスクやその他のリスクについては、米国証券取引委員会に提出している、2018 年 6 月 30 日までの四半期のギリアド社四半期報告書（フォーム 10-Q）で詳細に説明しています。将来予想に関する記述はすべて、ギリアドが現在入手できる情報に基づいており、ギリアドは将来予想に関する記述を更新する義務を負いません。

###